



KIMIOTO



君の音に耳を傾け、共に考える

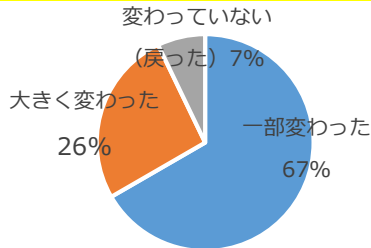
長岡市障害者基幹相談支援センター通信 Vol.8 (2023.11)

私は人一倍寒さに弱く、冬は外出するのにも決意を要します。そんな時は、新潟より寒い地域のことを思い「あそこよりは暖かい」と自分を鼓舞するのです。ちなみに南極では夏（1月）でも気温は-30度、冬は-70度だそうです。（・▽・）ニヤニヤ

コロナウイルスが障害者支援に及ぼした影響とは

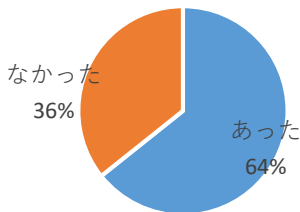
感染症法における類型が5類に移行した新型コロナウイルス感染症ですが、その間ウイルス禍が我々の支援に与えた影響などを市内の入所系、通所系、相談支援事業所等を対象に調査し、回答いただいた42事業所分について取りまとめました。

コロナの影響で支援は変わったか？



9割以上の事業所が、コロナ前と支援の形が変わった（変わったまま）と答え、イベントの縮小、会食・外出の制限などが多く、コロナ前と何もかも変わったと回答した事業所も！

事業所の閉鎖、休業はあったか？

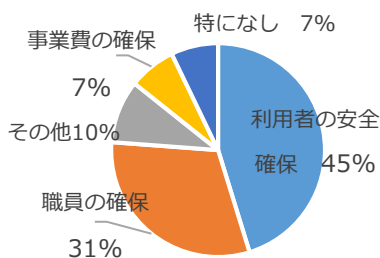


利用者に対し、何らかの制限をお願いしたとの回答が多いねー



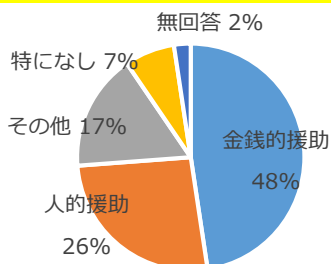
感染により一次的に閉鎖等を余儀なくされたと回答した事業所が6割を超えた

コロナ禍で一番困ったことは？



利用者・職員の安全、支援員の確保が一番困ったとの回答が多く、特に就労系の施設では受注・事業費の確保も困難に

どんな後方支援が欲しかった？



金銭・人的支援の他に、帰宅できない職員の宿泊施設の確保、事業所がコロナについて相談できる行政部署、検査キットの配布などの支援が欲しかったとの意見もあった

すでに行われている後方支援もあるから、今後はいかにそれを行き届かせるかも重要ね



関係機関の皆様、大変ありがとうございました。今後の施策に活用させていただきます。

今回の TUNAGARU はトモシアにあるこちらの事業所です。



長岡市表町2-2-21 社会福祉センタートモシア2F ☎0258-89-8263

✉:nagaoka-ps@circus.ocn.ne.jp 職員体制:センター長、相談員(計11名)

Q.パーソナル・サポート・センターってどんなところ?

A.長岡市からの委託により、生活困窮者に対する家計・就労等についての相談業務を行っています。特にお金の使い方(やりくり)に問題がある、家族に借金があるようだ、仕事が長続きしない等で困窮している方、あるいは困窮する可能性がある方の相談を受け付けています。

Q.仕事の難しさは?

A.相談者ご本人にとって習慣化しているものを変えるのはとても困難です。特にお金の使い方に関係がある場合、個人の価値観と生活の安定が相反するものになることが多いので、ご本人の意見をじっくりと聞いて尊重しつつ、その上でこちらの提案を聞いてもらいながら家計を見直し、生活を軌道に乗せるという作業になります。そこは人生に大きく関わる部分なので、とても慎重に進めます。

Q.日々の支援で感じる課題は?

A.生活困窮者自立相談支援は、事業自体の歴史も浅く、残念ながら制度があまり浸透していません。現在は、相談者や他の支援機関の方からも、単に「生活費の相談」、「生活保護への繋ぎ」、「債務の解決」といった視点のみで相談されることも多く、なかなか生活の立て直しというところまで行きつかないケースがあります。ご存じの通り、生活を安定させるためには、相談者の「暮らし」そのものへ介入しなければならず、お金の部分だけ切り分けて考えるとうまくいきません。そこは、支援者の皆様と私たちが同じテーブルで一緒に考え、総合的に支援できるようになればありがたいです。

Q.あなたのリフレッシュ方法は?

A.いろんなところに出かけて写真を撮ることで(須田相談支援員)
※今回登場している風景写真はすべて須田さん提供です。(・v・)ｲｲﾈ!!



～本誌をご活用ください～

研修会をPRしたい、事業所を紹介したいなど、ご要望は障害者基幹相談支援センターまで

長岡市表町2丁目2番地21(社会福祉センター トモシア2F)

0258-39-2362 0258-86-0220(FAX) n-kikan-soudan@city.nagaoka.lg.jp